

謝 辞

本日は私達の成人としての門出にこのような会を催して頂き有難うございます。

またお祝いの言葉を頂戴しました高田様を始め、ご来賓の方々、ご出席頂きました皆様には新成人百十六名を代表し、心より感謝申し上げます。

私達は今成人を迎え、社会への一步を踏み出そうとしています。社会の一員となることは私達にとって念願であると同時に大きな不安でもあります。社会経験や知識も乏しく、まだまだ未熟な私達が、目まぐるしくその形を変え、流れを速めていく世界に足を踏み入れる事は、痛みを伴うものであると思います。そしてその痛みはもう他の誰かに受けてもらうことはできません。全てが自己責任の世界で生き抜かねばなりません。

しかし、私達はこの一步の爲にこの二十一年間を生きてきました。家族や先生、友人に支えられながら、地に根を張り、幹を伸ばしてきました。こうして培い蓄えてきた経験を糧として実践する時が来たのです。

生まれてから今日までせつせと組み上げてきたこの舞台が頑丈強固なものであるか、はたまた軟弱で今にも崩れ落ちそうなものであるか。他人からの警告や、批判、嘲笑を受けることもあるかも知れません。ですが、舞台の組み方は十人十色であり、その強度は組み上げた者の信念の強さに比例すると思います。如何にこれまでの人生、自らが築いてきたこの舞台に自信を持ち、恐れることなく舞台上で躍動できるかがその舞台を成功くれた家族に対して、社会に出て躍動することと思返しとするべく、凌雲之志を持って歩んでいきます。

平成二十六年 一月十二日

新成人代表

鷲見 健人